科目コード	未定	【授業内容】
学習センター	放送大学本部	心理援助職として必要とされる心理面接や心理検査の実際および対人コミュニケーショ
学習センター	12Z	ンの取り方に関する基本的な知識や技能を習得すること、そして、多職種連携および地
コード	122	域連携の意義やその方法および現状を理解することを目指しています。あわせて、臨床
クラスコード		現場で要支援者と関わる際に意識的に遵守しなくてはならない職業倫理や法的義務およ
科目名	心理演習	び社会人として求められる社会マナーについて、説明および実践ができるよう理解を深めていきます。
科目区分	専門科目:心理と教育	
ナンバリング	320	で行う際に必要となる基本的な知識・技能・姿勢に関する理解、自らの体験について振
定員	30名	り返る力、他者と協働する力を養い、今後の実習に向かうための心構えを身につけま
	クワバラ トモコ	す。また、後半の2日間では、これまでの体験を振り返り、心理支援の実践者としての自覚と意識を再確認します。
		【授業テーマ】
		第1回 心理的な支援を行う際の心構え
	桑原 知子(放送大学特任教授)	第2回 心理的な支援におけるコミュニケーション
	カタノ シゲユキ 波田野 茂幸(放送大学教授) キタハラ トモノリ 北原 知典(放送大学教授) イトウ マサル 伊藤 匡(放送大学准教授)	第3回 コミュニケーションの取り方について
担当講師		第4回 守秘義務・職業倫理と法的な義務についての基礎知識
		第5回 心理職業務における連携の意味と重要性 第6回 多職種連携の実際
		第0回 多職性連携の美際 第7回 施設見学における倫理的な注意点
		第8回振り返りとまとめ
		第9回の地理的な支援と心理面接・心理検査
		第10回 心理的な支援における面接技法とは
		第11回 心理的な支援と日常の支援の違い
		第12回 地域支援及び地域連携
	【第1回~第4回】 2025年4月19日(土)10:00~17:00 【第5回~第8回】 2025年4月20日(日)9:00~16:00 【第9回~第12回】 2026年1月16日(金)10:00~17:30 【第13回~第16回】 2026年1月17日(土)9:00~16:00	第13回 心理的な支援におけるニーズの把握
		授 第14回 心理的な支援における専門性とは
日程 実施時間		業 第15回 心理的な支援における専門性を身につけるために大切に思うこと
		概 第16回 振り返りとまとめ
		要 【学生へのメッセージ】
		本講義は、1年間を通した授業の最初と最後の節目となります。しっかりと体調管理を
		して臨んでください。
		【受講前の準備学習等】 初回に予定されている「『心理演習/実習』事前ガイダンス」にて説明する予定なので
		必ず出席をしてください。それまでは、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】
		出席状況、面接授業で課した試験、レポート等の成績、学習状況等を総合的に判断して成績評価を行います。
		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、学生証、マスクなどの感染対策用品、切り取ってもいいような写真が載って
実施会場		「
	この授業は、【放送大学本部(※不測の事態発生時はWeb (Zoom)授業で開講。)】で行います。	【教科書】
		心理アセスメント(放送大学教材)(2020)森田美弥子・永田雅子編著 放送大学教育
		振興会
		【参考書】
		授業中に適宜紹介します。
		【その他(特記事項)】
		・「心理演習」と「心理実習」は「一体の科目」として取り扱い、2025年度第2学期の
		終わりに同時に単位認定を行います。どちらか1科目のみの履修およびどちらか1科目
		のみの単位修得は認められません。
		・「学生教育研究災害傷害保険」(通学中等傷害危険担保特約付き)および「医学生教育研究賠償责任保険」加入者を対象としていますので、ま加入の方は必ず由決期関内に
		育研究賠償責任保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず申込期間中に 最寄りの学習センターにて加入してください。
		最寄りの学者センダーにで加入してください。 ・授業ではその都度資料を配布します。教科書・参考書等は必ずしも購入および持参す
		る必要はありません。
		る必要はありません。

_	
科目コード	未定
学習センター	放送大学本部
学習センター	12Z
コード	122
クラスコード	_
科目名	心理実習
科目区分	専門科目:心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	クワバラ トモコ 桑原 知子(放送大学特任教授) ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸(放送大学教授) キタハラ トモノリ 北原 知典(放送大学教授) イトウ マサル 伊藤 匡(放送大学准教授)
日程時間	【ガイダンス・第1回】 2025年5月10日(土)10:00~18:00 【第2回~第4回】 2025年6月24日(火)~26日(木) または 6月26日(木)~28日(土) または 7月3日(木)~5日(土) ※この期間に3日間の授業を3クール(1 クールにつき学生10名)実施 〔1日目〕15:45~21:30 〔2日目〕9:00~21:00 〔3日目〕10:00~15:30 【第5回~第6回】 2025年8月20日(水)または 8月27日(水) (予備日:8月13日(水)または9月3日(水)) 10:00~20:30 【第7回~第9回(中間指導を含む)】 2025年9月12日(金)・13日(土) 〔1日目〕10:00~20:00 〔2日目〕10:00~20:00 【第10回~第11回】 2025年10月4日(土)10:00~20:00 【第12回~第13回】 2025年10月第4週~11月第3週のうち、日曜祝日を除く連続する2日間 〔1日目〕9:00~19:00 〔2日目〕10:00~20:00 【第14回】 2025年9月下旬~12月上旬 13:00~19:30 【第15回~第16回】 2025年12月6日(土)10:00~20:00
実施会場	この授業は、【放送大学本部及び実習見学先(※不測の事態発生時はWeb (Zoom)授業で開講。)】で行います。

【授業内容】

心理的な支援を実施している施設にて心理実践を行う際に必要とされる基本的な心理学的知識、技能および社会的なマナーについて、現場での実習や講演等を通して具体的に理解を深めます。また、現場で必要とされる多職種連携および地域支援等の「チーム」としての協働について、必要な知識および技能を深めるとともに、その現状を理解します。以上の学びを通して、心理援助職に求められる専門性について真摯に考え、答えを探求していくための基本的な姿勢を培います。

(到達目標)見学実習や実践者の講演およびディスカッションを通して、心理支援を現場で行う際に必要となる基本的な知識・技能・姿勢に関する理解、自らの体験について振り返り考える力、他者と協働する力を養い、心理支援の実践者としての自覚と意識を持ちながら、今後の実習に向かうための心構えを身につけます。

【授業テーマ】

「心理実習」事前ガイダンス

第1回 「心理実習」開始ガイダンス (病院見学実習の事前指導を含む)

第2回 保健医療分野における心理職の業務と実際について① (講義・事前指導)

第3回 保健医療分野における心理職の業務と実際について②(見学実習・事後指導)

第4回 保健医療分野における心理職の業務と実際について③(講義・振り返り)

第5回 司法・犯罪分野における心理職の業務と実際について①(事前指導)

第6回 司法・犯罪分野における心理職の業務と実際について②(見学実習・事後指導・振り返り)

第7回 産業・労働分野における心理職の業務と実際について(現場講師による講演・ 講義)

第8回 「心理実習」中間指導

第9回 心理専門職の諸側面について (講義)

第10回 教育分野における心理職の業務と実際について①(現場講師による講演・講義)

第11回 教育分野における心理職の業務と実際について② (講義・振り返り)

第12回 福祉分野における心理職の業務と実際について①(事前指導・見学実習・事後

授 指導)

業 第13回 福祉分野における心理職の業務と実際について②(現場講師による講演・講 概 義)

第14回 現地見学実習(7か所から1か所選択)(見学実習・事後指導)

第15回 心理職の多様性と広がり(講義)

第16回 「心理実習」の総評および評価

【学生へのメッセージ】

本講義は、座学ではなく、ディスカッションを中心としたグループワークや実際の見学 実習での体験が中心です。積極的な姿勢で授業に臨んでください。また、1年間を通し た授業となりますので、体調管理に気を付けてください。

【受講前の準備学習等】

|初回の「事前ガイダンス」にて説明する予定なので必ず出席してください。それまで |は、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

出席状況、レポート等の成績、学習状況等を総合的に判断して成績評価を行います。

【受講者が当日用意するもの】

筆記用具、学生証、マスクなどの感染対策用品等の他、必要なものはその都度授業内で 教示します。

【教科書】

心理職の専門性 - 公認心理師の職責 - (放送大学教材)(2020) 吉川眞理・平野直己 編著 放送大学教育振興会

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【その他(特記事項)】

- ・「心理演習」と「心理実習」は「一体の科目」として取り扱い、2025年度第2学期の終わりに同時に単位認定を行います。どちらか1科目のみの履修およびどちらか1科目のみの単位修得は認められません。
- ・「学生教育研究災害傷害保険」(通学中等傷害危険担保特約付き)および「医学生教育研究賠償責任保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず申込期間中に 最寄りの学習センターにて加入してください。
- ・授業ではその都度資料を配布します。教科書・参考書等は必ずしも事前購入および持 参する必要はありません。